夕刊 磐城新聞
六月二十九日發行
(日曜祭日翌日休刊)
東京振替一〇六五五八番

天氣豫報 小名濱測候所發表
今晩 北東ノ風曇 小雨模様
明日 同じ

貯蓄強調入選文集(五)
―平第二校兒童作品

百億貯蓄
六ノ三 田巻嬌子

『正ちゃん、なあに、その赤といふ字はそんなへたな字、赤ちゃんだってかけるわ』と、私がいふと『なあによ嬌ちゃんだって、ひやうごができなくてさわいでゐるくせに』今、妹は赤ぃ百億貯蓄の湯書を、私は、百億貯蓄にかんするひやうごを、そろ〳〵熱心にかいてゐるのでした。(百億めざして新東亞』『あゝこれできた』と、私はつぶやいた。『今日本では、國は非常時下にあって、むだをはぶきけんやくを進め、百億圓をめざして貯金をし、銃後の護りをます〳〵固くして東洋平和のためつくさなければなりません』といふ先生のお話が、おもひだされ、百億貯蓄の本當のいみがわかるやうになって、ひやうごをかけるやうになった。私たちも戰地の兵隊さんたちにまけないやうに、いつまでも、此の御稜威がつゞいても日本の國がへこたれるやうなことがなく、銃後の護りをかたくし、東亞建設にそなへるために私たちは、一致協力して、出來るだけむだをはぶき百億貯蓄めざしてすゝみたいとおもひます

國民の義務
六ノ一 安田英子

支那との戰爭も滿三ヶ年となり、今後何年續くかわかりません。戰爭が永く續けば續く程入用なものはお金です。軍艦、大砲、鐵砲、飛行機、戰車、あらゆるものを買ふのもお金です。お金がなくては戰爭して敵に勝つ事は出來ません。吾等銃後國民は無駄なものは買はず、間に合ふ品は間に合せ、せいたくをせず貯金をし、幾分なり共御國の為に兵隊さんの為めまたは、自分の為め貯金をするのが、銃後國民としての務めであります。今度政府で百億貯蓄を目ざし國民に貯金をすゝめて居ります。是非々々私達の力で百億でも二百億でも貯蓄し國家に御奉公をいたしたい考へです。先づ第一お小使ひの一錢から、お台所の一切れから、貯蓄の第一歩を積み上げて行く考へです

逆旅書壁
磐城 小野路平

我是江湖一斷萍
多年幾宿此キ亭
嘐嘐細雨留詩去
只愧疎才筆未靈

あゝ昌子(1)
晩霞生

○悲しみに言葉出ですとうべ吾子の初七日を經て歌はんとせず
○亡き吾子を歌ひ出でんとするさへや涙は溢れ胸は痛み來
○さらばとて最後の盃を退けて見し吾子のおもかげいつの世に消えむ
○とこしへに歸らぬ吾子を確と知りし傳染病舍の眞夜の寂しさ
○悩みつゝ斯く果てよとぞ愛し子の二十五年を育くまざりし

その日(こよみ)
6月30日
△名和長年戰死す(延元元)△政黨内閣成立の始(明治三一)△帝都浸水十五萬戶を超わる(昭和一三)

○
山脈が音もなく青い六月の翳を捌もと迷ふかうもり　相沼正巳

講談 戀鬱無道 (134)
久我原多良 作　香川三十代 畫
異人屋敷 (八)

冬だと、もうトップリ暮れてゐる刻なのに、ちょうどころの日永、海も明るし、空も明るかつた。

その、明るい海の見渡せる部屋で、專藏が支度をしてゐると、お樂が、

『お前さん』

と、はいつて來た。

『行くんですか?今から……』

『うむ』

專藏は、振向かないで、手は、チョッキの穴へ時計の鎖を通しながら、輕く頷いてみせた。

『どういふんでせう?明日にしちやいけないんですか。いまから東京へ出るんぢや、今夜歸れないんぢやない?』

『歸れないだらうな。だから、戶締りをよくして早く寢るがいゝ』

『……馬車は?』

『いらん。道で拾ふことにしよう』

『一人で?三五郎に、お供させないんですか?』

『うむ。一人で行く』

お樂は、立ち入りすぎると思つたが、

『一體、東京に、どんな用があるんです?ねえ』

と訊いた。

めづらしく、早い晩飯を命じた專藏が、これから東京へ出る、と言ひ出したのである。それも、屋敷にある馬車に乗らないで、ひとりで行くといふ。見てゐると專藏は、何か心急かれるやうに、セカ〳〵と身支度をするのだ。

それが、お樂には不審だつた。

いま、專藏の心の壁に、茅江といふ女の影が、あざやかに映つてゐて、それ故に、にはかに東京へ出ることを思ひ立つた彼であるとは、お樂は、知らずにゐたが、何かは知らず、彼女の胸にモヤ〳〵と立ちのぼる霧みたやうなものがあるのだ。ハッキリと見究めないけれど、繊細な女性の神經が、さとくも或る物を感じさせたのである。

出來れば、自分も連れて行つて貰ひたい。

『どん用があるんです?』

と、お樂が問ふた時、專藏は、はじめて振返つた。

『すこし、調べたいことがあるのだ。で、こゝ一兩日歸つて來ないかも知れんぞ』

お樂の、顔の線が動いた。

『調べごとつて、それは……?』

『……』

答へない。卓子の抽斗から紙入れを取出して、それを内ポケットへ入れてゐる。

『ねえ、お前さん。わたしも一緒に行つちゃいけないかしら?』

『よくいろんなことをいふんだなあ』

微笑をふくんだ專藏は、お樂が眞劍にかがやく眸でおのれを見つめてゐる女だと知ると、ふと、視線を外らした。

『考へてみろ。お前は外へ、しかも、東京へ出るなど暫くつゝしまねばならない體ぢやないか』

『……』

お樂は、默つてしまつた。

『さうだらう。お香代をこちらへ連れて來たことについて、お前に嫌疑がかゝつてゐることは、わかり切つた話だ。その危險を侵してまで、わしに付いて來ることはない』

『……』

さうである。また、この屋敷の一室に監禁してあるお香代の、その失踪に騒ぐ人たちは、第一に、お樂に疑惑の目を向けてゐるのであらう。だからこそ、この異人屋敷へ來て以來、長谷川町の家へは歸らないことにしてゐるお樂だ。

それをいはれると、もう何もいへなくなるのであるけれど……。

『……だって……』

と、お樂は、呟くやうにホッソリと口籠つた。

玉屋眼鏡店

晝夜診療
外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
血液檢査毎日
◎入院隨時
平市新川町(電四六四)
醫學博士 北川芳夫

中等學校
制服……大特賣
高島屋の洋服
男女學生服 新入荷
注文並ニ既製品
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

七月新譜中
街に野に山に!
愛染夜曲
新女性問答
追分道中
男召されて
流行歌
二三吉端唄小唄名盤特選二集豫約募集中
▽洋樂名曲御知らせ
コロムビアーレコード
悲愴交響曲 金貳拾三圓十錢
懐しの名曲集 拾參圓二十錢
ハワイアンアルバム 四圓九十五錢
テレフンケレコード
ウインナワルツ集 拾壹圓
ビクターレコード
シューマンヴァイオリン協奏曲 拾參圓四十八錢
其他種々取揃へて御座います
ビクター コロムビア ラジオ特約店
金光堂時計店
平市五丁目 電話一九五番

外科一般
内臓外科
肛門病科
皮徽科
泌尿生殖器科(婦人科 性病科)
專門
(入院隨意)
白土醫院
平市字鎌田町
電二七九

おでん、やき鳥
小鳥焼も初めました。
お酒のあとに おけさめし
おでん 茶めし 酒の家
味郷
平市三田小路(三丁目裏)

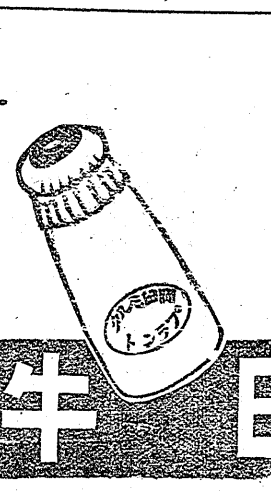
加奈陀系銀狐、純血エゾ狸
東北系多産種狸、フイツチ日本テン
大型種兎アンゴラ兎、雉子家禽各種
平産業養狸組合事務所
乾産業會社畜産部
國策アンゴラ兎採毛協會
福島縣磐城種畜場
内郷村綴(平市外)
出張所 平驛前 電六四八番
分讓所 東京市淀橋區下落合
◇藥品榮養劑 飼料各種◇
北里研究所製 ◇ジステンバー豫防液
東亞製藥所製 綜合ビタミン劑
◇ヴイベリン末(動物わかもとの稱あり)
◇フイツシミール 榮養魚粉
病理研究、診療 榮養劑の配劑 飼育指導の需に應
擔任 獸醫師

第一線の
慰問品ニハ
見不知羊羹と
潮の華
平市五丁目
泉屋菓子店
電話六六八

時計メガネハ
平市二丁目
時計師ネモトへ
(金銀高價買入マス)

お醬油は……ヤマフル
味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食料品
醬屋
山崎合名會社
福島縣平市
電話(營業部一〇番 本店二七番)
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

岡田牛乳
低温殺菌
伸びよ太れよ牛乳飲んで
平市鎌田町
電話五一



實株は買ツテ御手元へ
必ズ儲カル優良株
投資指針
●支那事變公債四萬圓マデ買マス
富岡株式店
平市四丁目三十三
電話二五八

國はニッポン。魚は凍魚
日本水産特約
卸 小賣
平製氷會社(電三三八・三三六)
タヒ 甘鯛
エビ マナ鰹
白魚 帆立貝柱
冷カツノコ ウニ貝燒
ヒノマル凍魚
平代理店 四丁目
ト印魚問屋(電五二八番)
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

◆内科、小兒科 院長 前田清美
◆外科(外科一般、内臓外科)
◆花柳病科 副院長 野村武一
◆X光線科
◆物療科(新設)
(手術室入院室完備)
前田醫院
植田町本町 電話一二四番

手近に好漁場を控へ 地方の大小天狗躍る
愈よ明後一日鮎解禁

待望の鮎解禁は愈よ明後七月朔日だ。一体今年は魚族増殖と増産の立場から解禁日を十日に繰り下げる縣の方針であつたが其後の情勢から例年通り解放される事になつたもので天狗連の喜びも一入である。地方の漁場としては川部溪谷に在る四時川、鮫川の二ヶ所であり殊に四時川のそれは水垢豊富で餌が充分な處へ荒瀬のため太丸で香味豊かな特徴があり、遠く東都邊からの太公望を誘致して居る。最良の釣り場たる安心坊、岩下、合流點、五ヶ錣（何れも自動車終點役場前から徒歩十分餘）大字沼部、小川下分渡船場（同役場から二十分）等附近一帶に於ける解禁第一日の賑ひは素晴らしいものがあらうと豫想されてゐる

入漁料一圓五十錢、網漁三圓五十錢、貸船船頭付三圓五十錢、宿料壹付一圓五十錢以上、中食料五十錢

物價關係上多少の異動はあるにしても大体こんな見當である

國調訓練會

平市の臨時國勢調査訓練會は十二日午後六時から郡部の分は十五日午前九時から何れも市公會堂に開く

齊藤磐炭會計課長出發

昨報、磐炭礦業所會計課長から東京本社同上に榮轉の齊藤祐治氏は今二十九日本社に出張、諸事打合せの上來月四日頃單身赴任京橋税務署に屬として在勤中の三男三郎君と一戸を構うる見込みであると

墓參や遺家族慰問 縣社で記念式擧行
來月七日の行事決る

市では來月七日の支那事變記念日行事につき明三十日午後二時から各種團体、學校關係を集めて協議するが大体既報縣通牒に基き國旗掲揚、早起遙拜、正午を期しての感謝默禱、武運祈願、學校での勅語奉讀式を擧行する外各種團体代表による戰病歿者墓參、市軍事後援會では遺家族を慰問する、市の記念式は午前十時から縣社子鍬倉神社で左記順序により擧行する筈

遙拜、戰歿將兵慰靈並に皇軍將兵武運祈願、勅語奉讀、誓詞（齋藤）講話、萬歲

百億貯蓄 町村支會で呼應協議

石城町村長支會では國民百億貯蓄運動に呼應し來月五日平市内に總會を開き種々具体案を練る

銃後風景を映畫に撮影
繭市場や田植等

軍人援護會本縣支部では今年一ぱいの豫定で縣下の銃後活動狀況を活動寫眞に撮影して前線郷土部隊慰問に送ることゝなり第一回の豫定個所をクランクしたが地方の撮影個所左の如し

草野村託兒所、四倉町繭市場、神谷村田植

けふ船路第二日目
上海へ航海中の蓮沼社長

縣代表中支皇軍慰問使として他の四縣參事會員と共に去る二十六日夜東京驛を出發した本社長蓮沼縣議は昨二十八日午前中元氣旺盛裡に豫定通り長崎から長崎丸に乘船、今二十九日は船路第二日目で明三十日上海埠頭大陸への第一歩を踏みつゝに現地廻りの本格的旅裝を固め先づ南京へ向ふ事になつて居る

雨はもう澤山
過ぎると病虫害發生 神谷農試分場觀測

遲れ馳せに來た今年の梅雨の未だ本格の降りも無いうちに早くもこの陰鬱な天候を厭ふ人情の勝手さ加減、水欲しい農村とキャンデー屋の店頭に子供の人山を築く両場とは所詮對蹠的の關係に立つ。處で今雨季の降雨量はどんな程度か、神谷農試分場の觀測（坪當り）によると

（一日遲れに表示）

日	ミリ	升
二三	〇・七	一、二六一
二四	一・五	二、七四五
二五	一・一	二、〇三
二六	三四・二	六二、五六六
二七	一七・四	三一、八四二
二八	二・五	四、五七五
二九	四・七	八、六〇一

下例年の梅雨季から見ると未だ地の滲迄水氣が滲み込んだ程の降りも續きではないが、農耕關係の水は之れで澤山でありこれ以上になると種々な病害虫などの發生も懸念されるのでこの邊で切り上ると眞に理想的と云はれてゐる

た百姓さん滋面

去年のけふが丁度豪雨で夕刻からそろ／＼植付け直後の水田に冠水、出水を氣遣はれ出したのである、それを思はせるやうな數日來●降りに早くも滋面●のお百姓さん、水不足もや解消して來月四、五日頃までには植付けも片づく農村にまた新しい悩みが出たやうだ

大漁で店は閑散
濱特有の皮肉な光景

一鯨を獲れば七浦賑ふ、を逆に大漁だと町が火の消えた様に寂しくなつて商賣が上つたりだ！と云ふ濱の實情を知らぬものには一寸領かれぬ話。小名濱の昨今は鰯、鰹、メジと連續的の大漁に漁業關係は文字通り皷腹擊攘の有卦に入つて町には好景氣の旋風が捲き起るわけだが事實はそうなるとカフエーや居酒屋街の瞬見たる漁師連は遠く沖合に出動するか、或は地元の濱に於ける夜を日に繼いでの陸揚げやらで、宛然戰さ場の様な職場から青い灯を追ふて出掛ける暇なとあらう筈なく、彼此濱を潤す大漁の喜びもさる事乍ら期うした事情の下に一部の商賣屋はこの大漁にも痛し痒しの狀態に置かれてゐる

豊田伍長
市内杉平出身

市内杉平出身金澤部隊騎兵伍長豊田勝一君は應召以來各地で武勳をたてゝゐたが去月九日鐘祥地方趙家岡附近の戰鬪で遂に散華した旨林〇隊長から實家に通知あつた

家庭は母ツギ（五七）さんと弟實君（三三）妹フミ（三二）さんの三人暮し、同君は出征前迄園藝に從事してゐた眞面目な青年だつた

けふの獻立
〔家庭料理〕 鯖の五色煮

平保健所榮養指導員 成田君子

鯖 六〇瓦中三分の一尾
メリケン粉三〇、八匁
油 八
青豆 五 十五、六粒位
人參一〇 約五分
片栗粉三 茶匙一杯位
計蛋白質一一、四瓦
温量二〇二カロリー

〔調理法〕 鯖は二糎角位に切り鹽、胡椒しメリケン粉をマブシ油で揚げる之を皿上盛り次の物をかける、青豆はそのまゝ人參は千切とし、少量の水を加へ軟く煮、砂糖、醤油、酢で調味し、片栗の水溶きを加へトロリと餡を作りかける

壯烈・二勇士戰死す

大淵中尉
元磐中教諭

『体操の先生』として生徒達から慕はれてゐた元磐中教諭歩兵中尉大淵彌次郎氏は一昨年九月佐賀中學に轉任後前戰にたつて活躍中去る五日北支山西省中爽山脈攻界戰で壯烈な戰死を遂げた旨フミ子夫人から淺水校長宛通知あつたので當時同教諭の薫陶を受けた高學年生らが弔慰金を醵出、亡き先生の英靈を弔ふことゝなつた

氏は福岡縣三潴郡大川町出身、体操學校卒業後昭和八年三月磐中教諭に就任以來生徒の訓育に當つた人

平窪の移動野菜市
今年も三井脇へ進出

新鮮な香りに毎年夏の夜を賑はせる市内平窪の移動野菜市場は今年も三井呉服店脇横町に明後一日から開設、お安いところで向ふ三ヶ月間お台所連のご愛顧を蒙るといふ

去年は二十九日の豪雨に祟られて少し遲れたばかりか品質に遜色の點もあつたやうだが今年はその心配もないので好評を博するだらう

元田中教諭も登場
雇入制限令違反後聞

〔既報〕地方最初の雇入制限令違反として平署に擧げられた佐賀縣杵島炭礦坑夫柴勝三郎外三名の關係者汀名町諸秋山一郎（五二）は取調べの結果元田村中學教諭をして地方の事情に通じた同炭礦勞務係竹村宗身（四四）と共謀、去る三月以來前後三回に亘り磐炭其他から十三名の坑夫を引抜き、一人〈九州迄送りとゞけて一人當り十圓以上の謝禮金を收受してゐた

二十八日竹村も佐賀縣より召喚され取調べを受けてゐる

泥的

泉村瀧尻人絹職工廣島市生れ金子榮（四二）は昨年八月工場内からゴム引防水布十八尺（十一圓）を盗み雨合羽に仕立て着用してゐたこと發覺植田署に檢擧

夫よ何處？
上小川

上小川村上小川トシ子さん（三三）の夫荒井信作は去る十九日双葉郡川内村に用達に行くと家出したまゝ音信不通となり其後郡山局の消印で『滿洲に行く』といふ電報を寄せたが實際は市内の工場湯本に働いてゐるらしくトシ子さんが養父、母と二人の子供をかゝへ生活苦から平署搜索方願ひ出た。信作は金五十圓ばかり所持してゐると

兎とトマト畑
平署の新風景

犯罪捜査や密行等でユックリ休む暇とてない平署司法係の人達が此程署裏手の空地にトマト畑を仕立て偖は可憐な兎を飼ひ初め、仕事の余暇を見てはせつせと手入れに當つて居る、赤い目の愛らしい兎を前にしては流石の怖いおぢさん連もスッカリ目を細めて『吾らのマスコット』とばかり和やかな虚心坦懷のひとゝきを味つてる

陣中を聴く
（424）

我が指揮つたなく尊き部下を失へり
林義雄少尉（通信）

（次は別項市内杉平出身騎兵伍長豊田勝一君の戰死に就き〇隊長林少尉から伍長の北堂に寄せた書信で、部下の死を己れの責に歸した武人の面目躍如たる悲壯の文字である）

謹みて故陸軍騎兵伍長豊田勝一君の名譽の戰死に對し哀悼の意を表します。豊田君は入隊以來上官の信望厚く同僚に尊敬せられまた幾多の戰鬪に參加せられ常に武勳を立てられありしも今回襄東會念戰に參加せられ常に率先奮鬪せられあり去る五月九日鍾祥地方趙家崗附近の戰鬪に於て惜くも名譽の戰死を遊ばされましたが小生の指揮拙劣により御息子を失ひたるは何と申譯して良いか日夜其れのみ考へ居る次第に御ざいます、當時の狀況を申上ぐれば次の如くで御座います。

五月九日八時二十分尖兵たりし我が〇隊は趙家崗東南約二〇〇米附近に達するや續々と北上中の敵第八十一師の尖兵約一〇〇該地を占領し我に射擊を開始し尚ほ後方一〇〇〇米附近には砲を有する敵歩兵約一〇〇〇北進しあり、同地は附近一帶の要點を形成ありて彼我共に遭遇戰上の要點なり小生は直に該地を占領し主力の行動を掩護せんと思ひ一擧に突擊を敢行するの決心を取り豊田、廣田兩〇隊をして正面より熾烈なる火力を以て敵を制壓せしめ主力を以て敵陣に突入せり。此時豊田上等兵は輕機關銃の隊長として敵彈雨飛の間剛膽にも有利なる目標を發見し射手川上上等兵に射擊目標を指示し有效なる射擊を以て〇隊の突擊を掩護しありたり、時に敵の一彈は豊田君の下顎部肩胛部を貫通し、豊田君は『天皇陛下萬歳』を唱へ茲に壯烈なる戰死を遂げられました。豊田君の豪膽にして沈着勇敢なる射擊指揮により〇隊の突擊を容易ならしめ、以て敵をして趙家崗を放棄するの己むなきに至らしめたるは本戰鬪に於て勝捷の主因を作爲せるものと思ひます

先は簡單にて失禮乍ら御報告迄

平市慶弔錄

△出生 本籍田町四倉町小松錦治氏四女昌子ちやん 本籍鎌田町大阪市港區磯路町岡部義定氏長女貞子ちやん

三十日 【小名濱測候所調】
滿潮 前〇、二五 後一三、五〇
干潮 前八、二五 後八、〇〇

舊五月十四日 金曜 新六月三十日
戊戌 赤口 定 牛宿

▲一白 實力以上の大事に手出しすれば苦痛すべし▲二黒 一錢二錢を積むときは末遂に萬に達すべし▲三碧 四圍の情勢に妨げられ易き自身を低ふせよ▲四緑 無理な勇氣を出すも決局は骨折損たるべし▲五黄 遠大の志を持し近きより徐々と進むが吉し▲六白 物事簡易に運び行く日但しおごりはつゝしむべし▲七赤 希望の貫徹する日始業開店名弘め何れも吉▲八白 無事なる如く見へても注意は怠るまじき日▲九紫 しん重に漸進するときは萬可ならざる事なし

廣告

おでん たつた揚 やきとり
一平 電話二六三番

特約店 白梅便箋 忠孝便箋 文鳥便箋 菊日本便箋 香取封筒 住吉封筒 東亞封筒 松竹梅封筒
魁文堂 電話313番

病室・手術室完備
產婦人科 （物理療法科併置）
醫學博士 五十嵐雄二 （入院隨時）
平市新川町（電話三六九番）

產婦人科 井坂醫院 平市田町 電五五九

平病院（平市元共濟病院跡）（電話六四一番）
院主 院長 醫學博士 鈴木定藏
內科 小兒科 院長 鈴木定藏
內臟外科 一般外科 皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸
レントゲン科 物理的療法科 院長 鈴木定藏
藥劑部 部長 吉本孝平
診療時間 每日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）

專門 皮膚科 泌尿器科 性病科
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町 江尻醫院 電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎
入院隨意

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します、
福好工業合資會社 代表者 强口唯七郎
自動車部 電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します、

日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
福島縣平市一丁目（電話六十一番）
株式會社 關彰商店平支店
本店 茨城縣下舘町 電話五五、三三九番
支店 茨城縣土浦町田宿 電話六五三番
茨城縣久慈町 電話一三七番
茨城縣多賀郡 大津 電話一四七番 平潟 五四番
福島縣四倉驛前 電話 四八番
福島縣小名濱町
油槽所〈常磐線泉驛前
海岸給油所〈大津港、平潟港、江名濱
ガソリン給油所〈土浦町新國道日本石油給油所 電話八二番四